

最優秀審査員賞

「心配するママへ」

ママ、一年間の山村りゅう学に行かせてくれてありがとうございます。  
テルが自分で決めた事だけど、はじめ、みんなとはなれて  
本当はとてもさみしかったんだ。  
お山の生活は楽しいし、みんな親切でやさしいです。  
でも、ママに会うことも、電話で話すこともできないので、  
一人で泣いていた時もありました。  
だから手紙をたくさん書きました。  
テルはママからの手紙が楽しみで、学校から帰ると  
ポストをいつも見ていました。  
手紙がとどいているとメツチャうれしかったよ。  
月に一度会える日に、ママが帰る時や、駅で見送る時、  
がまんできなくて、いつも泣いてしまいました。  
ママもその時すごく悲しい顔をしていました。  
テルは、次はぜったい泣かないと決めても、やっぱり  
泣いてしまいました。  
テルが泣くからママはすごく心配していたと思います。  
そして夏休みが来て、家でいっしょにすごせてとても  
楽しかったし、うれしかったよ。  
でも、もうすぐ終わり、山へ帰ります。  
またさみしくて泣いてしまいかもしれないので、手紙を  
たくさん書くからママも手紙で元気をちょうだいね。  
手紙はふしぎなんだよ。  
読んでいるとママの顔や声が聞こえる気がするんだよ。  
ママ、テルがんばるからね。  
だから、ママも泣かないでね。

水野 瑛也より